

みずほCustomer Desk Report 2019/08/06号(As of 2019/08/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.36
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.57	1.1107	118.38	1.2151	0.6790
SYD-NY High	106.68	1.1213	118.93	1.2188	0.6804
SYD-NY Low	105.79	1.1103	117.68	1.2102	0.6748
NY 5:00 PM	105.96	1.1203	118.73	1.2143	0.6758
NY DOW	25,717.74	▲ 767.27	日本2年債	-0.2200	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,726.04	▲ 278.03	日本10年債	-0.2000	▲ 3.00bp
S&P	2,844.74	▲ 87.31	米国2年債	1.5773	▲ 13.05bp
日経平均	20,720.29	▲ 366.87	米国5年債	1.5262	▲ 13.37bp
TOPIX	1,505.88	▲ 27.58	米国10年債	1.7168	▲ 12.58bp
ソコ日経先物	20,250	▲ 635	独10年債	-0.5185	▲ 2.10bp
ロンドンFT	7,223.85	▲ 183.21	英10年債	0.5110	▲ 3.90bp
DAX	11,658.51	▲ 213.93	豪10年債	1.0200	▲ 6.75bp
ハンセン指数	26,151.32	▲ 767.26	USDJPY 1M Vol	8.10	1.10%
上海総合	2,821.50	▲ 46.34	USDJPY 3M Vol	8.05	0.82%
NY金	1,476.50	▲ 19.00	USDJPY 6M Vol	7.80	0.68%
WTI	54.69	▲ 0.97	USDJPY 1M 25RR	-2.03	Yen Call Over
CRB指数	171.49	▲ 1.87	EURJPY 3M Vol	8.29	0.57%
ドルインデックス	97.39	▲ 0.69	EURJPY 6M Vol	8.14	0.37%

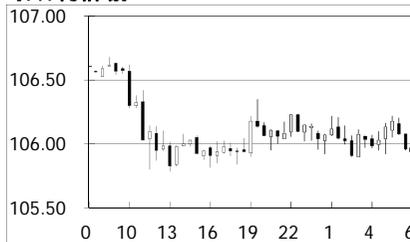
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月5日	16:55	独 マーケットサービス業PMI・確報	7月 54.5	55.4
	16:55	独 マーケットコンボジットPMI・確報	7月 50.9	51.4
	17:30	英 マーケットサービス業PMI	7月 51.4	50.3
	17:30	英 マーケットコンボジットPMI	7月 50.7	49.8
	22:45	米 マーケットサービス業PMI・確報	7月 53	52.2
	22:45	米 マーケットコンボジットPMI・確報	7月 52.6	-
	23:00	米 ISM非製造業指数	7月 53.7	55.5
8月6日	02:30	米 フレイナードFRB理事 講演	「市場の動きを注視」	

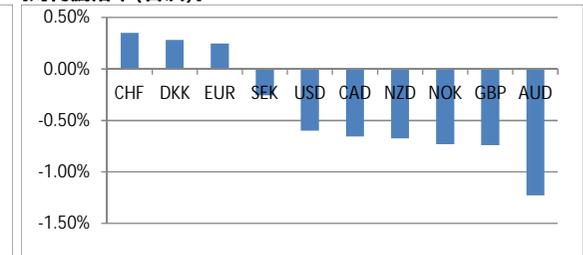
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月6日	10:30	豪 貿易収支	6月 A\$6000m	A\$5745m
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	6-Aug 1.0%	1.0%
	14:00	日 景気一致指数・速報	6月 100.4	103.4
	15:00	独 製造業受注(前月比)	6月 0.5%	-2.2%
	16:30	独 マーケット建設業PMI	7月 -	50
8月7日	01:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.00	1.1200-1.1300	118.40-119.40

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は急落した。米中対立激化を背景に、中国当局が人民元Fixingを昨年12月以降で初めて1ドル=6.9元より元安方向に設定したことを受け、人民元が7元を超える水準まで急落し、ドル円も106台半ばから一時105.80近辺まで急落した。本日のドル円相場も上値の重い展開を予想する。本日早朝には米国が中国を為替操作国に認定したことに加え、北朝鮮が飛翔体を発射したこともあり、引き続きリスクオフ地合いが継続するものと思われる。本日のドル円相場は105円台での上値重い展開になりそうだ。

東京	東京時間のドル円は106.57レベルでオープン。中国市場で取引の開始した人民元が、1ドル7.0元を超える人民元安となったことから、中国景気への懸念が高まりリスクが加速。一時105.79をつける下落となった。中国政府が国有企業に対し、米産品の農産物輸入を一時停止すると伝わったことも、リスクを加速させる要因のひとつとなった。その後は、105円後半まで小刻みに上下し、105.91レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.91レベルでオープン。米中対立問題懸念より上値重く推移する中、一時106.35まで上昇する場面もみられたが、米7月ISM非製造業指数を控える中、106.09レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2117でオープン。英7月サービス部門PMIが市場予想を上回る良好な結果となったことから1.2169まで買われ、1.2163でNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	106.09レベルでNYオープンを迎えたドル円は、朝方は106.23まで上昇する場面も見られた。その後米国の対中追加関税への懸念が燃える中、ダウ平均が寄り付きで400超安となり、ドル円の買いも長続きせず、105.92まで反落。10時発表の米7月ISM非製造業指数は予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的だった。その後、ダウ平均は一時900ドル超安まで下げ幅を広げ、ドル円の売りが観測される一方、105円台での買い戻しやユーロ円の堅調推移にサポートされ、結果、106.00近辺でのみ合いとなる。終盤に掛けては、米金利が一段と低下し、米10年債利回りが1.70%台をつける動きを受けて、小幅に下落し、105.96レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、米長期金利の低下を背景に対ドルでユーロが買い戻されたことや、ユーロポンドの買いに連れ高となったことから、1.1180まで上昇し、そのまま1.1180でNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、米金利の低下を横目に1.1213まで回復。一時1.1213まで上昇するが、一巡後は小幅反落し、1.1203でクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田